

令和5年度 土木建築委員会 県内所管事務調査の概要

令和5年11月8日(水)

◆調査箇所：山国川記念橋（中津市山国町中摩）

【概要】

当該箇所は、令和5年7月10日に発生した線状降水帯による豪雨で、山国川の護岸や橋梁の取付道路が被災した箇所である。当該地域では平成24年7月九州北部豪雨などにおいて河川が氾濫し甚大な被害を出しており、今年7月の豪雨でも平成24年の出水と同等規模の雨量を観測している。

調査では被災した箇所を視察し、中津土木事務所から被害状況、災害査定状況、(公)土木施設災害復旧事業について説明を受け、質疑応答を行った。



(公)土木施設災害復旧事業

<主な質疑等>

- ・過去の災害を受けて実施した河川改修事業の事業効果について
- ・河床掘削の実施状況について
- ・橋梁の耐久性について

◆調査箇所：小野川露木橋及び流木捕捉工（日田市大字小野）

【概要】

当該箇所は、令和5年6月30日からの梅雨前線豪雨により小野川の護岸が被災した箇所である。

調査では被災した現場を視察し、日田土木事務所から被害状況、今後の復旧に向けた(公)河川災害関連事業について説明を受け、質疑応答を行った。

また、平成29年7月九州北部豪雨の災害を受けて施工した、出水時に河川を流れる流木等を捕捉する鋼製スリット型の構造物について、今年の豪雨に対する事業効果の説明を受けた。



(公)河川災害関連事業

<主な質疑等>

- ・災害関連事業を実施することによる既存事業への影響について
- ・今年の豪雨災害に係る災害査定件数について
- ・流木捕捉工における今年の豪雨で捕捉した流木の撤去について

◆調査箇所：畑倉地区斜面崩壊現場（由布市湯布院町川西）

【概要】

当該箇所は、令和5年6月30日からの梅雨前線豪雨により斜面崩壊が発生した箇所である。

調査では被災した現場を視察し、大分土木事務所から発災当時の気象状況や発災後の対応の経過について説明を受けた。あわせて被害状況や地質調査の結果、今後の復旧に向けた(公)緊急地すべり対策事業等に係る工程、工法について説明を受け、質疑応答を行った。



(公)緊急地すべり対策事業

<主な質疑等>

- ・事業が完成する予定年度について
- ・法面のアンカー工に係るアンカーボルトの長さについて
- ・近隣の河川災害に係る復旧事業について